

浅井北だより



☆よく考え自ら学ぶ子 きまり正しく心豊かな子 健康でたくましい子☆

令和2年 6月号

スタートラインを引き直して

今年度、浅井北小学校は、33名の新入生を迎え、児童数314名（13学級）でスタートしました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月7日の1日のみの登校で、学校は臨時休校となってしまいました。先の見えない状況の中、子どもたちに「つながっているよ」「大丈夫だよ」というメッセージを何とか届けたいと考え、学年だよりやウェブサイトを通して、子どもたちに可能な限り発信をしていくこととしました。その一方で、学校が再開した場合に備えての準備や対応についての協議を行いました。消毒液、使い捨て手袋や体温計も品薄が続いているため、限られた中でのより有効な使い方を協議し、また、授業や学校行事など学校生活のありかたについても見直していきました。こうした協議を通して、私たち職員は今まで行ってきた教育活動の目的は何か、子どもの思いを大切に、育てるということはどういうことなのか原点に立ち返り、



考えることとなりました。感染防止のため、指導をせねばならないことはたくさんあります。でも、それを子どもが本当に納得しなければ押しつけになり、主体的な行動へとつながりません。そこで、まず職員が指導の目的をはっきりとさせ、児童に納得できる形で示していくことを大切に、5月26日からの分散登校を第2の始業式、新しいスタートラインとして位置づけ、準備を進めていきました。

【東門の掲示板的メッセージ】 分散登校の日には、保護者の方が集合場所まで送ってくださったり、見守り隊の皆様があいさつや声かけをしてくださったりしながら、子どもたちの登下校を支えてくださいました。見守り隊の方からは「子どもたちが登校するというだけで涙が出るね」「1日1日登校が続くようにしていきたいね」と温かな声をいただきました。ご家庭や地域の皆様のご協力に、感謝申し上げます。

学校では、久しぶりの学校生活に緊張しながらも、期待をはずませて登校した子どもたちの思いが垣間見られました。距離を保ちながらも友達と笑顔を交わし、担任の指導を受けながら、一生懸命手洗いの練習をする子どもたちの姿を見て、学校生活に対する子どもの期待や願いを大切に育て、それぞれの生きる力を伸ばしていきたいと思いました。

「大人は経験の中で生き、子どもは未来を生きる」という言葉があります。私たち大人にとって今回のコロナ感染症の流行は、経験だけでは太刀打ちできない事態となっています。だからこそ、子どもとともにスタートラインを引き直し、同じ未来を生きる伴走者であることを自覚して、教育活動を考えていきたいと思えます。今年度の教育目標「一人一人の笑顔が輝く学校」の実現をめざし、ご家庭の皆様のご理解・ご協力をいただきながら、進めていきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

浅井北だより

☆よく考え自ら学ぶ子 きまり正しく心豊かな子 健康でたくましい子☆



令和2年 7月号

「これならできる」を大切に

6月より本格的に学校が再開されました。学校では、文部科学省による「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～学校の新しい生活様式～」を参考に、児童、教職員の感染リスクを可能な限り低減するよう対策を立て、取り組んでいます。子どもたちには、コロナに対する正しい知識を学習させた上で、「手洗い」「三密を避ける」について、自分たちで考え、行動できることを大切に指導を進めています。



【登校したら手洗い】

放課の遊び方では、「三密」を避けるための遊び方について学級で話し合いました。「影踏みをする」「フライングディスクを使った、さわらない鬼ごっこ」「なわとびで遊ぶ」などのアイデアが出され、休み時間には、教職員見守りのもと、元気に遊ぶ姿が見られます。外で遊べない日には、読書、絵を描く、折り紙、学級で動画を見るなどをして過ごしています。折り紙や自由帳など、ご家庭で用意いただき、ありがとうございます。

給食は食べ物を扱うため、衛生面で配慮が必要です。本校では各自がトレーをもち、配膳されたものを自分で取るスタイルとし、学年の発達段階に応じて準備の時間の動きを工夫しています。1年生でも日を重ねるごとにトレーを上手に扱えるようになり、慎重に自分の席まで運ぶ姿が見られます。一人一人が責任をもって準備することで食べ物を粗末にせず、感謝していただく姿勢もできてきたように思います。



【トレーを使い上手に配膳】

しかし、一見元気に見えるようでも感染症予防による制限のある生活の中で、子どもたちもストレスや疲れを感じています。そこで、定期的に担任と1対1で話ができる教育相談の時間を設け、子どもたちの思いを聞き、困りごとを一緒に解決できるよう考えていくことも大切にしています。

子どもたちが元気に安心して学校生活を送ることができるのは、ご家庭での協力があってこそと感謝申し上げます。学校では「これしかできない」ではなく、「これならできる」に発想を変え、子どもたちを認め、見守り、励ましていきたいと考えています。ご家庭の皆様方のご協力を、今後もよろしくお願いいたします。



【教育相談】